

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2021 年 12 月号

NO. 335

TOPICS

PRsj との上手な関わり方

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 大里真理子

MESSAGE P4

「PRアワードグランプリ 2021」表彰式・プレゼンテーションライブ配信

ATTENTION P5

広報・PRスキルアップ実践講座③ <マーケティングPR>をオンライン開講

ATTENTION P6

「危機管理広報集中講座」をオンライン開講

ATTENTION P7

「新任広報部長講座 2021」をオンライン開講

ATTENTION P8

【再掲】第 31 回 1 次試験のお申込みを受付中

ATTENTION P9

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー

5F 電話 (03) 5413-6760 ファックス (03) 5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F

電話 (06) 6344-3002 ファックス (06) 6344-3005

発行人: 畔柳 一典

12月号目次

12月～1月のスケジュール	-----	2
MESSAGE(メッセージ)	PRSJとの上手な関わり方	----- 4
ATTENTION(お知らせ)	「PRアワードグランプリ2021」表彰式・プレゼンテーションライブ配信	----- 5
〃	広報・PRスキルアップ実践講座③ <マーケティングPR>をオンライン開講	----- 6
〃	「危機管理広報集中講座」をオンライン開講	----- 7
〃	「新任広報部長講座2021」をオンライン開講	----- 8
〃	【再掲】第31回1次試験のお申込みを受付中	----- 9
BULLETIN(活動報告)	国際セミナー:カンヌライオンズ2020/2021 PR部門受賞作品から見えるもの	----- 10
〃	第25回広報活動研究会(会員限定)	----- 12
〃	第22回企業部会フォーラム(会員限定)	----- 12
REPORT(講演レポート)	第217回定例研究会(正会員・個人会員限定)	----- 13
協会掲載記事	PRSJ in Media	----- 14

12月～1月スケジュール

【オンライン】 「PR アワードグランプリ 2021」 表彰式・プレゼンテーション	日 時 : 12月14日(火)12:30～16:00
【オンライン】 第47回PRスキル研究会	日 時 : 12月15日(水)18:00～ テーマ : 『広報の仕掛け人たち』紹介事例から学ぶ～社会課題を解決するPRクリエイティブ 講 師 : (株)博報堂 クリエイティブコンサルティング局 局長代理 グローバルクリエイティブディレクター 室 健氏 (株)マテリアル ストーリーテリンググループマネージャー /シニアプランナー 近村洋輔氏 モデレーター : (株)PR Table PR(パーソナル・リレーションズ)室 マネージャー 久保圭太氏
【オンライン】 統合コミュニケーション集中講座	日 時 : 10月19日(火)～12月13日(月) テーマ : トータルコミュニケーション視点のPR ～社会の風を読み統合コミュニケーションで課題を解決する～
【オンライン】 広報・PR入門Web講座2021(秋期)	日 時 : 10月28日(木)～12月20日(月)
【オンライン】 広報・PRチームリーダー講座	日 時 : 11月11日(木)～12月29日(水) 講 師 : Zホールディングス(株) 執行役員 広報・IR統括部 統括部長 伊東由理氏 (株)アサヒビール(株) 理事 営業部 副部長 田中隆之氏 ダイキン工業(株) コーポレートコミュニケーション室長 細見基志氏
【オンライン】 広報・PRスキルアップ実践講座 ② 「リサーチ & PR プランニング」	日 時 : 11月16日(火)～1月11日(火) テーマ : 企業/ブランドを「物語」の主人公にする逆算リサーチ手法 ～PRプランニングに生かすリサーチのポイント～ 講 師 : (株)マテリアル ストーリーテリングセンター ゼネラルマネージャー 小林秀行氏
【オンライン】 広報・PRスキルアップ実践講座 ③ 「マーケティングPR」	日 時 : 12月10日(金)～1月31日(月) テーマ : マーケティングとデジタルPR ～PRにおけるソーシャルメディア活用のポイント～ 講 師 : (株)トライバルメディアハウス 代表取締役社長 池田 紀行氏
【オンライン】 新任広報部長講座 2021	日 時 : 12月21日(火)～2月14日(月)＜予定＞ 講 師 : キッコーマン株式会社 コーポレートコミュニケーション部長 臼井一起氏 テレビ東京 執行役員 八田亮一氏 西村あさひ法律事務所 弁護士 鈴木悠介氏
【オンライン】 危機管理広報集中講座	日 時 : 12月16日(木)～2月7日(月)＜予定＞ テーマ : 危機管理広報の基本と実践 ～危機管理の原則と緊急会見・必須ツールを学ぶ～ 講 師 : ゼウス・コンサルティング(株) 代表取締役社長 白井邦芳氏 株式会社トラストワークス 代表取締役 風間 武氏

12月～1月の理事会・委員会・ 部会スケジュール

定例理事会	(12 月度)	日 時	: 12 月 9 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 霞会館	
	(1 月度)	日 時	: 1 月 13 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 未定	
教育委員会	(12 月度)	日 時	: 12 月 20 日 (月)	13:30～15:00
		会 場	: オンライン開催	
資格委員会	(12 月度)	日 時	: 12 月 23 日 (木)	12:00～13:00
		会 場	: オンライン開催	
国際・交流委員会	(12 月度)	日 時	: 12 月 3 日 (金)	17:00～18:00
		会 場	: オンライン開催	
広報委員会	(12 月度)	日 時	: 12 月 23 日 (木)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	
顕彰委員会	(12 月度)	日 時	: 12 月 22 日 (水)	15:00～16:00
		会 場	: オンライン開催	
企業部会幹事会	(12 月度)	日 時	: 12 月 1 日 (水)	17:00～18:00
		会 場	: オンライン開催	
PR業部会幹事会	(12 月度)	日 時	: 12 月 21 日 (火)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	

PRSJ との上手な関わり方

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 大里真理子

結論から先に言ってしまうと、ズバリ、運営に関わることがお勧めである。委員会活動、部会活動、はたまた理事としての活動など、色々機会はある。

広報の重要な資質（スキル）のひとつは、常に「外部の目」を持つことである。広報は自社と社会の架け橋となることが大事であり、その際に、自社の目と社会の目の両方で見ることが必要だ。

しかしながら、あるひとつの組織に長くいると、だんだんと自らが所属する側の目が強くなっていく。自分の常識や感性がその組織特有のものなのか、はたまた社会一般のものなのか、いつの間にかわからなくなってしまいがちだ。

例えば企業統治において、組織では社外取締役を置き、「外部の目」の役割を担ってもらっている。それくらい、組織の人間が外部の目を持ち続けることは難しいものだ。

さて、それでは偏りのない目を持ち続けるため、PRパーソンはどういう工夫をしたらよいのだろうか？

私は、別の組織もしくはコミュニティに積極的に関わることが有意義だと思っている。

例えば PRSJ という組織に属して働くことで、PRSJ という、自社とは違う目を持つことができる。PRSJ の仲間はそれぞれが異なる組織（企業）に属する方々だから、その立場からまた、新しい目をいただくこともできる。こうして、PRSJ で働きながら社会の目を磨き続けることができるのだ。

というもっともらしい理由で、私は社外活動にかなりの時間を割いている。PRSJ はもちろん、中央競技団体の運営に関わったり、母校の交友会の仕事をしてみたり、息子の学校の PTA 活動をしてみたり。

おかげで、忙しくはあるものの、様々な立場から見る目を養うことができている、と自負している。

と少し大仰に書いてしまったが、結局のところ PRSJ での活動は楽しいのだ。楽しいからやっている、それが本当の理由である。

なんといってもコミュニケーションの達人の集まりだし、段取りのプロの集まりでもあるのだから、非常に良い刺激を受けることができている。

多くの PRSJ の会員は、既に何らかの組織に属していることと思う。その組織内での広報活動における付加価値を出すために、PRSJ の会員になってくださっているはずである。

その元を取るには、PRSJ の運営に関わるのがもっとも手っ取り早い。

そのために、まずは参加することから始める必要があるが、セミナー、イベント、アワードなど色々な機会があるので、ぜひお気軽にご参加を。

きっとそのうち運営もしてみたいくなることでしょう。

「PRアワードグランプリ 2021」 表彰式・プレゼンテーション 12月14日(火)12:30 ライブ配信

PRSJ では来る 12 月 14 日（火）12 時 30 分から、「PRアワードグランプリ 2021」の表彰式ならびに受賞者によるプレゼンテーションを開催し、その様子をオンラインでライブ配信いたします。会場にお越しいただくことなく各受賞エントリーのプレゼンテーション等を視聴していただけます。

また、今回の配信は当協会会員に限らずどなたでも無料で視聴可能となりますので、より多くの皆様にご視聴いただければと存じます。

配信内容は、シルバー以上受賞全 9 エントリーの方々によるプレゼンテーションと全受賞エントリーの表彰式です。

なお、今年度は「まてりある's eye」～若者が人生を変える 物質科学広報プロジェクト～（エントリー会社：国立研究開発法人 物質・材料研究機構、事業主体：国立研究開発法人 物質・材料研究機構）をグランプリとして選出いたしました。

「PRアワードグランプリ 2021」の受賞者は下記 URL をご参照ください。

https://prsj.or.jp/association/wp-content/uploads/2021/12/praw2021_open1207.pdf

記

■ 名 称 : 「PRアワードグランプリ 2021」表彰式・プレゼンテーション

■ 開催日時 : 2021 年 12 月 14 日（火）12:30～16:00

■ 開催方法 : オンラインにてライブ配信

■ 参加費 : 無料

■ 講座詳細／お申込み :

当協会 Web サイトで本イベントの案内ページ（以下 URL）をご参照の上、お申込みください。

https://prsj.or.jp/event/praward2021_presentation/

広報・PR実務講座 2021

広報・PRスキルアップ実践講座③ <マーケティングPR> 「マーケティングとデジタルPR」

教育委員会

当協会では、今年度第3回の「広報・PRスキルアップ実践講座<マーケティングPR>」として、マーケティング・コミュニケーションにおけるデジタルメディアの活用に求められるポイントを具体的な事例を交えて学ぶ「マーケティングとデジタルPR」をオンライン開講します。

インターネットの世界的な利用を背景に、SNSなどのさまざまなデジタルメディアの普及は情報流通構造に大きな変化をもたらしました。ネット上では、個人が情報発信の機会を獲得し、発信したその情報がネット上で拡散し、世論や流行などの形成を促し社会や企業活動にも大きな影響を与えることも、今では決して珍しくはありません。デジタル化の進展のなかで、かつては情報の拡散に主要な役割を果たしていたテレビや新聞などのマスメディアの隆盛は過去のものとなり、ネット上では人々が発信、拡散する膨大な量の情報が飛び交う時代を迎えています。

情報流通構造の変化のなかで、PR（パブリックリレーションズ）活動も大きく進化しつつあります。マスメディアの活用を主眼としたパブリシティ中心の時代は終焉し、PESOのフレームワークに基づき活動を設計する次世代のPRが求められています。すなわち、社会との協調と好ましい関係性の構築をめざす「コーポレート・コミュニケーション」のみならず、市場において商品・サービスの市場化や普及を目的とする「マーケティング・コミュニケーション」においてもPRに関する新たな考え方が重要性を高めています。

モノやサービスが溢れコモディティ化した社会では、マスメディアを通じて市場に商品・サービスについて知らせるだけではその情報は拡散せず、ましてや消費者の幅広い共感・支持を得ることは不可能です。マーケティング・コミュニケーションにとって必要なことは、PRとマーケティングの関係・位置付を理解し、認知から比較、購入、さらにリピートや共感・共有の拡散といったプロセスにおける課題を適切に見出し、解決するPR活動をPESOのフレームワークに基づいて設計する考え方、方法を身に付け、それを実践することです。

本講座では、デジタルマーケティングやソーシャルメディアマーケティングの支援に豊富な実績のある株式会社トライバルメディアハウス 代表取締役社長の池田紀行氏を講師としてお招きします。講義では、PRとマーケティングの関係をはじめとして、PESOに基づくコミュニケーション活動の考え方、購買プロセスにおける意識、態度、行動変容に向けたPRの役割、PR活動設計のポイントなどについて、具体的な事例を交えて解説していただきます。

本講座は、マーケティング・コミュニケーションにおけるソーシャルメディア活用のポイントを学ぶ貴重な機会です。みなさまの聴講をお待ちします。

講座の詳細ならびに申込みは、以下の協会 Web ページをご覧ください（12月上旬公開）。

<https://prs.j.or.jp/event/marketingpr/>

（事務局・真部）



広報・PR 実務講座 2021

「危機管理広報集中講座」をオンライン開講 ～3つの講義をととして危機管理広報の基本と実践を学ぶ～

教 育 委 員 会

協会では、3つの講座により危機管理広報の基本と実践を学ぶ「危機管理広報集中講座」を12月中旬からオンライン開講します。

突然の事故や社員・役員の不祥事、想像もしなかったネットにおける炎上など、社会の厳しい監視にさらされる企業にとって緊急事態は不可避ではありません。予期せぬ事態は稀有ではなく、ひとたびそんな事態に見舞われれば長年の努力を通じて築き上げたレピュテーションやブランドが一瞬のうちに崩壊します。まして適切な対応を誤り陥る最悪のケースでは、企業としての存続までもが脅かされる重大危機に発展しかねないのです。

万が一の事態への対処のため企業にとって重要なのは、リスクを洗い出し危機の事前予防に努めるとともに、よもやの緊急事態には、損害・損失を極小化し存続をかけた事後処理を進める「危機管理」施策を検討し準備しておくことです。すなわち、平時からリスクを認識するとともに危機対応施策を備えるなど、全社一丸となった危機管理の取組みが重要です。

危機に見舞われ会社が混乱の極みにあろうとも、メディアをはじめステークホルダーとの適切なコミュニケーション(危機管理広報)は、危機対応において重要な役割を果たします。どんな事態に陥ろうと、広報担当者は会社を守りぬく視点からひるむことなく冷静かつ果敢な対応を行わねばなりません。いざという時には、全社的な危機管理の一環として事態の進展に応じた適切なコミュニケーションをステークホルダーに行えるよう、平時から基本について理解し、対応に必要な実践的知識と考え方の習得が不可欠です。



本講座は、危機管理広報の基本と実践を学ぶ3つの講義で構成しております。基本編では、危機管理の専門家として知られる白井邦芳氏(社会情報大学院大学 広報・情報研究科教授、ゼウス・コンサルティング株式会社 代表取締役、写真右上)を講師にお招きし、危機管理についての基本的な考え方とその重要性、危機管理広報の役割や緊急記者会見について学びます

また、実践編では、風間 武氏(株式会社トラストワークス 代表取締役、写真右下)に講師をご担当いただき、ポジションシートやステートメント、想定Q&Aなど危機対応に欠かせないツールの作成と活用法、緊急事態発生時における対応の実践的なポイントなどについて解説いただきます。また、実際の危機場面を想定した「ケース演習」を通じ、危機対応における判断のポイントを実践的に身に付けていただきます。



危機管理の重要性と危機管理広報の実践的ポイントを学ぶ本講座。皆さまの受講をお待ちします。なお本講座の詳細ならびに申込みについては、12月中旬から協会Webサイトの案内ページでお知らせします。

(事務局 真部)

広報・PR実務講座 2021

「新任広報部長講座 2021」をオンライン開講

～広報上級管理職の知見を習得する広報マネジメント研修～

教 育 委 員 会

協会では、企業において広報本部長、広報部長として広報・PR部門を統括する新任の上級管理職を対象とする「新任広報部長講座 2021」を12月下旬からオンラインで開講します。

グローバル化の進展、IoTの普及を背景に時差や国境を超越して高度化する世界。厳しい市場競争に晒されている企業の存続には、双方向のコミュニケーションを通じたステークホルダーとの良好な関係構築が不可欠であり、そのコミュニケーションを戦略的に司る広報部門は経営の羅針盤として、重要性をいっそう高めつつあります。

広報部門を率いて企業における情報参謀として経営トップを補佐する広報部長などの上級管理職は、経営やコミュニケーションの領域に限らず、近年では社会的な責任の遂行や課題への取り組みも不可欠であり、その見地から自社を俯瞰しマネジメントを担う高い知見と情報に対する鋭敏な感覚が欠かせません。また、自社トップとの信頼関係の構築、役員やキーパーソンとの協力、部門内における部下の管理や育成など幅広い課題を抱え、着任間もない広報部長はいかにその職責を全うすべきか、身近に相談相手も少ないなかで多大な努力が求められるのが実情です。

本講座は、着任から間もない広報部長や広報担当役員など広報部門の上級管理職を対象とし、就任後に直面する数々の悩みの解決などに役立つ講座として企画しています。3つの講義をとおり、部門を統括する上級管理職としての心構えや考え方、マネジメントスキル学びます。

講座の詳細ならびに受講については、12月中旬から協会ホームページでご案内します。上級管理職として、新たに広報マネジメントに携わる皆さまのご参加をお待ちします。

■開講日時：2021年12月下旬（視聴期間は約50日を予定）

■受講資格：企業・団体の広報担当役員、広報本部長、広報部長、もしくは準ずる方

■プログラム

内 容	講座タイトル(仮題)	講 師
企業広報	広報部長の仕事の実際 ～ベテラン広報部長はこう考えた～	キッコーマン株式会社 コーポレートコミュニケーション部長 臼井一起 氏
メディア	メディアからみた企業広報 ～メディアの記者とどう付き合うか～	テレビ東京 執行役員メディア戦略室長兼報道 局担当補佐 八田亮一氏
法 曹	新任広報部長が身に付けておくべき 法的リスク感覚と危機管理広報の勘どころ	西村あさひ法律事務所 弁護士 鈴木悠介氏

■受講料（税込）

PR協会会員(※)	PRプランナー(准・補)	一般
33,000 円	44,000 円	49,500 円

※正会員としてご入会いただいている企業・団体にお勤めの方、個人会員・准会員としてご入会いただいているご本人。
(事務局 真部)

PRプランナー資格認定制度／検定試験

【再掲】第31回1次試験のお申込みを受付中

ー試験期間は、2月12日(土)～2月27日(日)までー

資格委員会

2022年度前期（第31回）1次試験のお申込み受付を12月1日（水）から開始しました。
 第31回1次試験も、PCを使用して、2月12日（土）～2月27日（日）まで実施されます。
 本1次試験は広報・PRに関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに13,208名が受験し、9,923名が合格しております。
 ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

- 全国280カ所のテストセンターに設置されたPCを使って受験していただきます。
- 16日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy（ネットバンキング）からお選びください。（手数料は無料です）
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

【1次試験 お申込みから可否通知までの流れ】



【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第31回1次試験 実施概要】

試験期間	2022年2月12日（土）～2月27日（日）
仮申込み期間	2021年12月1日（水）～2022年1月28日（金） ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。（本申込に必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2021年12月1日（水）～2022年2月4日（金） ※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります。（受験日時・会場選択、受験料のお支払い）
可否発表	2022年3月16日（水）正午
試験出題数／試験時間	50問／80分
合格基準	全出題数に対して正答率70%以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR概説（2021年度版）

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記のPRプランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいよう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



PRパーソン必見！！ 国際セミナー開催レポート
カンヌライオンズ 2020/2021
PR部門受賞作品から見えてくるもの
国際・交流委員会

国際・交流委員会では、2021年10月29日に国際セミナー「カンヌライオンズ 2020/2021 PR部門受賞作品から見えてくるもの」をオンライン配信で開催いたしました。

◆当日のアジェンダ◆

①18:30～19:00 カンヌライオンズ 2020/2021 審査にあたって

(PR部門審査員長 Gail Heimann (Weber Shandwick CEO) インタビュー映像含む)

(株)井之上パブリックリレーションズ 執行役員 尾上玲円奈氏

②19:00～20:00 クロストーク

「カンヌライオンズ 2020/2021 から見えてきた、ニューノーマル時代のパブリックリレーションズ」
登壇者

(株)電通 PR コンサルティング 執行役員／チーフPRプランナー 井口 理氏

(株)博報堂ケトル 代表取締役社長 共同 CEO 太田郁子氏

(株)博報堂ケトル 取締役／クリエイティブディレクター／編集者 嶋 浩一郎氏

(株)本田事務所 代表 本田哲也氏

モデレーター

(株)井之上パブリックリレーションズ 執行役員 尾上玲円奈

③20:00～20:10 Q&A セッション

①カンヌライオンズ 2020/2021 審査にあたって

尾上氏からの審査員レポートでは、2021年のカンヌは新型コロナの影響で昨年度カンヌが開催できなかったことから2020年と2021年両方を審査することになったことが報告され、シャンドウィックのゲイル審査員長へオンラインでインタビューした映像の解説を中心にお話をいただきました。

インタビューで審査員長のゲイル氏は、「危機の時代だからこそパブリックリレーションズの力を示すものを選ぶ。その中でも人間的な価値を示すものが重要である」ということを基準にし、また「パブリックリレーションズの力を示すためには強いナラティブとストーリーが必要で、これがあることで分断されている世界につながりをつくることができる」と強調したことが尾上氏から紹介されました。

そうした審査を経て、2020年のPR部門グランプリを獲得したのは、ABINBEV（アンハイザーブッシュ）によるCONTRACT FOR CHANGE、農家を有機農法に切り替えるための施策。3年間かかる転換という課題を契約で保証するというアイデアによって実現させた作品。

2021年のグランプリはSPINNEYS AND THE LEBANESE BREAST CANCER FOUNDATIONのTHE BREAD EXAM。レバノンでの乳がんの検診率を高める施策を伝統的なパンをこねるしぐさとリンクさせることで実現させた作品。

社会的イシューにどう取り組んで、目的を実現するかということで際立った成果をあげた2つの案件がグランプリになったと尾上氏から紹介されました。

②クロストーク

カンヌライオンズ 2020/2021 から見えてきた、ニューノーマル時代のパブリックリレーションズ
尾上氏のレポートのあとは、クロストーク登壇者がそれぞれお気に入りのカンヌ受賞作品を2つずつ紹介。尾上氏のレポートのあとは、クロストーク登壇者がそれぞれお気に入りのカンヌ受賞作品を2つずつ紹介。

博報堂ケトル 太田氏

- MasterCard True name

LGBTQ の人たちの救済。トランスジェンダーの人たちが元の性の名前で迫害を受けていることに
対する施策

「名前に注目することで、他の業界でも応用可能。」

- スペイン THE LAST OLDER PERSON TO DIE IN LONELINESS

孤独という社会問題への認知を広める

博報堂/博報堂ケトル 嶋氏

- Salla2032

フィンランドの寒冷地が夏のオリンピック誘致を行う

「PR パーソンが学ぶべきはクリエイティビティ 手口の広がりや可能性の大きさを追及してほしい」

- DIESEL enjoy before returning

アパレル会社が、E コマースであればタグをつけておけば返品できるという損失をカバーするために考えたアイデア→わざとタグをつけたパーティを実施する

「行動心理学に基づいた優れたアイデア。悪いことだと知っていてやっている心理をウェルカムの姿勢を見せることで逆に働かせる。」

本田事務所 本田氏

- Burger King The Moldy Whopper

カビが生えてくるハンバーガー。

「勇気をもって反シズルな表現でマクドナルドとの違いをアピール」

- Red Wing #Labor Day On

コロナ禍での失業者増の問題に対して、求人キャンペーンを実施。

「オーセンティシティ、なぜその企業がその問題に取り組むのかという理由付けがしっかりとした社会課題解決」

電通 PR コンサルティング 井口氏

- H&M LOOOP

リサイクル、サステナブル調達を実現する企業としての宣言

- BECO #StealOurStaff

障害者雇用を進めるために、自社にいる優秀な障害者スタッフをヘッドハンティングするように紹介。

井之上パブリックリレーションズ 尾上氏

- WWF plasticus

プラスチックごみが深海生物の生態にまで影響していることを新種のネーミングで端的に示し、海洋汚染問題の啓発に取り組んだシンプルで秀逸なアイデア。「日本でも展開できそうなイメージ」

- Mumbai police Punishing Signal

ムンバイ警察という公的機関が主体となって実施した交差点でのクラクション騒音を減らすクリエイティブアイデア→騒音が止まらなると赤のままで信号が変わらない。「日本で公的機関を巻き込んでこんな突き抜けたアイデアが実現できるか、示唆に富む」

全体として近年は「ナラティブ」「オーセンティシティ」「ブレイブ（勇気）」などがキーワードとして継続していること、そして今年は冒頭のゲイル審査員長のインタビューにもあったように、パンデミックのような危機がある今こそPR パーソンの力を示すときであり、ライフスタイルの変化、サステナビリティを求める若者世代の登場など新しい合意形成が必要な時にPR の新たなアイデアや手法が日本でも積極的に生まれてきてほしいということで熱く、楽しいクロストークが終了しました。

（文責）事務局 渡邊）

会員限定

第 25 回広報活動研究会 11 月 16 日「トッパン小石川本社ビル」訪問 企業部会

企業部会では、会員企業の広報活動（機能、組織、運営体制など）について実際のケーススタディを通して知り、広報・文化施設等によるコーポレートコミュニケーション、ブランディングを体験していただくことを目的に「広報活動研究会」を開催しています。

今回は凸版印刷株式会社（以下トッパン）のご協力を経て、「トッパン小石川本社ビル」を訪問し、「創立 120 周年」の広報活動についてお話を伺うとともに、「印刷博物館」と「PLAZA 21 小石川」の施設見学を行いました。

会員限定

第 22 回企業部会フォーラム 「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」 企業部会

2021 年 11 月 8 日第 22 回企業部会フォーラムが（株）野村総合研究所の NRI CODO スタジオからライブ配信で開催されました。「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」をテーマに、近畿大学法人本部東京センター事務部長の加藤公代氏にご講演いただきました。

正会員・個人会員限定**第217回定例研究会****『日経ビジネス』がめざす新時代のビジネスメディア
～磯貝編集長が進めるこれからのメディア展開～****講 師：日経BP
日経ビジネス編集長
磯貝高行氏**

第217回定例研究会は、10月21日（木）オンラインで開催しました。講師は日経BP「日経ビジネス」編集長磯貝高行氏。テーマは「『日経ビジネス』がめざす新時代のビジネスメディア～磯貝編集長が進めるこれからのメディア展開～」でした。

PRSJ in Media

● 11月1日（月） 『月刊広報会議』（宣伝会議）12月号

『月刊広報会議』12月号における当協会の連載コラムで、当協会の企業部会が開催した広報ゼミ「最強広報組織の作り方」の概要が掲載されました。

今回の広報ゼミにはキャリア5年前後の若手PRパーソン3名が登壇、74名が参加したことをはじめとして、各講師の発言のポイントが紹介されました。また、続けて実施されたパネルディスカッションでは、広報のキャリア、スキル、存在意義などについて、活発な議論が行われたことが報じられています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいとおもいますので、
よろしくお願い致します。

広報員会

E メール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載